

くるめ・つながる・くらす通信

第3回 12月9日

【好きなこと×まちづくり～アイデア編～】

第3回の思い出

みなさまこんにちは！生涯学習推進課の塩足です。前回から期間が空き、あっという間に12月が来ました。今回からはいよいよ「アイデアをカタチに！」に向けて走り始めました。まず山口先生の事例紹介ということで、メンバー1人につき3票ずつの厳正な投票結果から、「コミュニティカフェづくり」「中学生と考える小学校の授業」「議員と語ろう！ワールドカフェ」「島の未来をみんなで」といったお話が聞けました。それぞれが興味深い、何より面白い内容でみなさまのアイデアが刺激されたことと思います。その後は「やりたいことを言葉に！」というところで、「何を目的に何をしたい？」「誰に、何人ぐらい参加してほしい？」「(必要なら)どんなプロセスが必要？」というお題の元、A4用紙に自分と向き合って考えたアイデアを書き出し。全員の発表では、皆様の思いや妄想が詰まった、とても素敵なアイデアを聞かせていただきました。山口先生から「今日と来週で、みなさんのアイデアをいつでもやれる状態まで持って行きましょう」という話があり、皆さんの緊張感を察知しましたが、おしゃべりがはじまると肩の力が抜けていき、これも誰かと対話することの効果なのかと思いました。



—今日のハイライト—

特に思い出深い話を書いていきたいと思っています。「ああ、ここを拾うんだー。自分と違うなあ」なんて思いながら読んでもらえると幸いです。

みなさまのアイデアがあふれてくる場面に遭遇できて、この講座をやる意義を再確認でき、担当冥利に尽きる時間でした。コミュニティカフェや小学生の居場所づくり、久留米といえばここ！という場所、「畑を活かしたい」、「川を活かしたい」、被爆体験談を集める団体、酒蔵学科新設などきらきらと輝いているみなさまのアイデアに脱帽しきりでした。なにより、そのアイデアを話している表情は明るく、楽しそうだったことが印象的でした。そんなみなさまのアイデアに対して先生からは「小さな一歩でもいい。それを、いつどこでやろうか決めてみましょう！」という話があり、笑いが起きていましたが、「なんだかやれそうじゃないか？」という空気があったと思います。この空気感があったことは不思議でもあり、しかしみなさまが未来を向いて話されたから生まれたものだなと感じました。



☆塩足君の心に留まった一言☆

- ・「やりたいことは、妄想でも、本気でも、不完全でもいい。」
- ・「自分の頭の中を整理する時間、すなわち自分と対話する時間」

今後の予定

♪第4回 12月16日♪

好きなこと×まちづくり～チラシ編～

+大交流会

☆参加者みなさまで交流を深めましょう☆